



～これからも「気づき」を忘れずに  
そして、一層大切に～

■決意も新たに■

夕張市は財政再建・再生両計画を通じて、9年目を迎えようとしておりますが、厳しさは一層増していると感じております。

今、夕張市はこの財政再生計画が最上位の計画であることから、市民の皆様にとっては極めて将来の夕張市がどうなっていくのかが、見えにくい状況です。少しでも見えるようにしてまいります。

今こそ、私たち自身が主体的に将来のまちづくりを本気で考えなければならない岐路に立たされています。

財政再生団体の課題解決・小さくなくても安心して住み続けられる、夕張づくりは未来へ引き継ぐ私たちの責任！しっかりと頑張ってまいります。

日々の情報発信に努めております

[あつや司ホームページ]

<http://www.atsuya-tsukasa.com/>

[フェイスブック]

<http://www.facebook.com/tsukasa.atsuya>

# あつや司プロフィール

## 経歴

1965年10月21日

夕張市生まれ。49歳。

夕張市立清水沢小学校  
清水沢中学校

夕張北高等学校卒業後

1985年から夕張市役所。南支所・税務課・  
特産品開発課・教育委員会学校教育課などで勤務。

2005年からは自治労夕張市職員労働組合執行委員長を務める。

2011年夕張市役所を退職。夕張市議会議員選挙に民主党公認で立候補し、初当選を果たす。

市議会では行政常任委員会副委員長（前期）、議会運営委員長・議会だより編集委員長（後期）の任に就く。

議会役職以外では現在、連合北海道夕張地区連合会事務局長・自治労夕張市職員労働組合特別執行委員・一般社団法人SDCP発声障害患者会監事・産炭地議員連絡協議会地区役員・夕張太鼓保存会「竜花」会長などを務める。

家族／妻と二人暮らし。



猫／そら・ふう（雄・1歳の兄弟は、放射能非難をされているご家族から譲り受けました）

趣味／ドラム・バンド演奏、音楽鑑賞、料理



引き続き財政再生団体の課題解決にしっかりと向き合います

## 夕張の未来づくり 描くのは私たちの責任



夕張市議会議員

# あつや司 後援会事務所

〒068-0411 夕張市末広1丁目9番地

TEL : 0123-52-3151

# あつや司

# 財政再生計画の課題解決をはかり、将来を担う人づくり、大切な地域、歩んだ歴史を守ってこそ夕張再生！

## 『未来への責任』であることを忘れず 財政再生計画の課題解決に取り組みます

- 財政再生計画を進めることは、まちづくり・人づくりに大きな制約が課されており、その不安からの人口流出も加速しています。
- 今必要なことを明確にすること、財政再生団体であっても教育・医療・福祉・介護などの社会的共通資本が、近隣市町に著しく後退することのない夕張であるよう、国と地方の責務、市民の役割を明確にしたまちづくりをすすめます。



## 将来の夕張を市民みずからが 描ける取り組みをすすめます

- 地域再生とコンパクトシティを進める夕張市において、これからは人づくりがますます重要です。良好なコミュニティが維持されている現状を将来に確実に引き継ぐため、「ゆうばり未来づくり会議（仮称）」を設置し、あらゆる世代が積極的にまちづくりに関われる取り組みを行います。
- 地域再生計画（平成27年1月22日総理大臣認定）は今後のまちづくりに大きく貢献することが期待されます。また一方で国の進める地方創生の「選択と集中」が、過疎の切り捨て推進となる懸念もあることから、地域再生計画の推進において、夕張市が真に全国的先駆的役割を果たせるような取り組みをすすめます。

## 議会改革をさらに推進します

- 夕張市議会基本条例の理念をさらに具体化するため、市民の皆様との懇談、報告会及び各種媒体を通じた広報活動などさらに改善してまいります。
- 将来の夕張を担う児童・生徒のまちづくりに対する質問・意見に常に対応できる体制を作ります。
- 市の政策動向に的確に対応できる議会を目指し、機関としての研修強化を積極的に提言します。
- 財政再生計画推進中の本市において、さらに機関としての研修・さらなる市民参加を求める活動財源をねん出するためには、財源ねん出のため、また財政再生完了後を見据えた定数削減（1～2）についても検討します。



## より一層『気づく』目線を大切に

- 1期4年間、私の活動の原点とも言える「気づき」を大切に活動をしてまいりました。
- 引き続き、地域・現場・市民活動など、あらゆる場面での「気づき」を大切に、市政への反映を求めてまいります。
- また、引き続き市民の皆様へ「市政をわかりやすく」説明できるように努めます。

## 今までも、これからも 平和憲法を守り、脱原発社会を目指します

## ◆夕張問題を風化させないために◆

—夕張問題の風化が進む中、機会を頂ければ  
各地で積極的に話しさせて頂きました—

### 《講師依頼など》

- 福岡県立大学 公共社会学科リカレント教育プログラム「まちづくり政策能力向上講座」  
(H25.11.28)
- 自治労本部2014年度地方財政セミナー (H26.2.4)
- NPO法人札幌障害者活動支援センターライブ設立25周年事業 (H26.6.27・現地受入窓口も担当)
- 静岡県伊豆市にて開催された「伊豆市未来セッション」の個別セッションにて夕張市の現状報告  
(H26.7.28)

ほか、夕張市の現状・課題報告を積極的に行いました。

### 《寄稿》

- 財政再建七年目 夕張の今(月刊自治研2014年1月号・共著)

## ◆患者会活動にも積極的に◆

- 自身の病気である「けいれん性発声障害」の疾病認知活動にも、積極的に取り組ませて頂いております。
- 患者会は、平成26年4月から一般社団法人化され私は法人の監事を務めさせて頂いております。
- 患者会活動では新規患者の診察へのアテンド、各種相談業務にあたるほか、医療施設向けの疾病認知の取組み、厚生労働大臣あて要望書の作成なども担当させて頂いております。
- 行政職員の経験、議員としての活動は患者会でも活かされます。

